

二本煙突横で筑豊魂を発信

特製タオルの収益の一部を寄付

10月7日、石炭記念公園野外ステージで「筑豊スピリッツ2012」が開催され、市内外で活動するロックバンドなど16組が登場し、訪れた人たちは生演奏を楽しみました。

このライブは、「筑豊」の名前を全国に発信しようと平成18年から始められ、今年で7回目の開催。今回は、音楽での国際交流を目的に、韓国のバンド1組を招きました。

また、12月5日には、実行委員会委員長の芦邊一路さんあしべかずみちらが市役所を訪れ、会場で販売した特製タオルの収益の一部を世界記憶遺産保存活用推進基金に寄付しました。

芦邊さんは「10年目の大きなイベントを行うことを目標に、国際交流を深めながら続けていきたい」と話しました。



▲ライブは大変な盛り上がりを見せました



▲左から山田元会長、加治会長、木戸隆之前会長

日本PTA全国協議会会長表彰を受賞

金川小父母教師会

12月5日、日本PTA全国協議会会長表彰（団体表彰）を受賞した金川小学校父母教師会の加治将貴会長らが、市役所を訪れ、賞状を手に受賞の喜びを報告しました。

この表彰は、全国から推薦されたPTA団体などの中から特に優れた活動に取り組んだ団体に贈られるものです。これまで行ってきた「まつり金川」などにおける地域と一体となった取り組みや特色あるPTA活動を県内外に発信してきたことが評価され、今回の受賞となりました。

東京都で行われた表彰式に参加した山田剛元会長やまだつよしは「平成22年度は金川中、今回は金川小が受賞した。学校や家庭、地域との協働教育が実を結びました」と笑顔で話しました。

届け、子どもたちの優しい思い

弓削田小学校児童が被災地へメッセージ

12月7日、「全国をつなげよう!! 災害絆プロジェクト」として全国を巡り、東日本大震災被災地の現状などを伝えている湯澤真さんが弓削田小学校を訪れました。

同小の3年生70人が総合的な学習の時間で育てたひまわりの種を、子どもたちの発案により11月に宮城県南三陸町に贈ったところ、そのお礼として、同時期に南三陸町で育てられたひまわりの種を持って湯澤さんが学校を訪問しました。

子どもたちは、湯澤さんの活動や被災地の状況などを聞いた後、大きな日本地図が描かれた旗に「前をむいてがんばろう」や「笑顔を忘れないで」などのメッセージを書き込み、ひとりずつ湯澤さんからひまわりの種を受け取りました。



▲メッセージを書き込んだ旗を湯澤さんと一緒に掲げました